

30 年の実績を未来に繋ぐ：

2025 年 11 月 4 日

ボッシュ、安全性の向上に貢献するモーターサイクル用 ABS の市場投入から 30 周年

PI 0000 BBM San/Bär

EICMA 2025 で二輪車向けの革新的な製品ポートフォリオを展示

- ▶ 30 年にわたりモーターサイクル用 ABS の最前線に立ってきた実績
- ▶ EICMA でボッシュの ABS を搭載した初の量産モデルのカワサキ GPZ1100 を展示
- ▶ スマートなシステム、高度なバッテリー管理、革新的なパワートレインで安全性、効率性の向上とネットワーク化の強化を実現

ミラノ（イタリア）－ボッシュは 30 年前、ライダーの安全性向上における大きなマイルストーンとなる初の量産型モーターサイクル用 ABS を市場に投入しました。以来、ボッシュは二輪車の安全性を継続的に進化させ、基盤となる ABS ユニットから、モーターサイクル用スタビリティコントロール（MSC）や最先端のライダー向けのアシスタンス技術といった高度なシステムへと進化を続けてきました。ボッシュのモーターサイクル&パワースポーツ事業部長のジェフ・リアッシュは EICMA 2025 にて「過去 30 年におよぶボッシュの使命は明確でした。技術革新、高い精度、インテリジェントなテクノロジーによってライディングをより安全なものにすることです」と、述べました。ボッシュはこの展示会で、二輪車およびパワースポーツ車両向けテクノロジーの最新の進歩について発表し、30 年にわたるたゆまぬ技術革新を讃えるとともに、ネットワーク化されたインテリジェントな未来のライディングエクスペリエンスを紹介します。

ボッシュのモーターサイクル用 ABS の開発は、1978 年に発売された乗用車のテクノロジーを基に 1986 年に始まり、1995 年に発売されたカワサキ GPZ1100 ABS に初めてボッシュのモーターサイクル用 ABS が搭載されたことで実を結びました。この継続的な取り組みにより、2007 年には二輪車の安全技術に関するコンピテンスセンターが日本に設立され、グローバルな開発拠点と専門のエンジニアリングチームの確立へとつながりました。その後も、2009 年のモーターサイクル用 ABS 9 の発売、2016 年の新興成長市場向けに設計されたコンパクトかつ軽量の ABS 10 light および base の登場、2018 年のハイパ

フォーモンスモデルの二輪車向けにカスタマイズされた ABS 10 enhanced の登場といったマイルストーンを迎えました。2013 年には、慣性計測センサーユニットを統合した MSC の開発により、二輪車向けの高度なアクティブセーフティシステムの提供を開始しました。

ABS を超えたさらなる二輪車の安全性の向上

ボッシュのモーターサイクル用スタビリティコントロール (MSC) システムは、カーブでの車体の傾きやダイナミックな走行時など、特に危険にさらされやすい状況で二輪車ライダーを強力に保護します。車輪速センサーと高周波慣性計測センサーユニット (IMU) を組み合わせて、車体のダイナミクスを秒あたり最大 100 回測定し、コーナリング時に車体が揺れたり傾いたりした状態でもブレーキングと加速を制御することができます。また、コーナリング機能以外にも、ボッシュは後輪の浮き上がり制御、坂道用のピークル ホールド コントロール、サーキット用の後輪スライド制御など、MSC で実現できる付加価値機能の開発を続けています。ボッシュの事故調査報告書によると、すべての二輪車に MSC が装備された場合、ABS と MSC を組み合わせることで、ドイツ国内だけでも人身事故を含む二輪車事故の 30% 以上を防止または軽減できる可能性があることが分かりました。ボッシュは、世界中のより幅広い層にこうしたメリットを提供するために、2023 年に小型車向けの MSC を導入し、排気量の小さなバイクが主流となっているインド、中国、ASEAN 諸国などの市場向けに MSC ソリューションを供給することを可能としました。

ボッシュは、30 年前に初の量産型モーターサイクル用 ABS システムを導入して以来、継続的に二輪車の安全性の向上を図ってきました。今や ABS は単なる標準装備の域を超えて、最先端の二輪車向け安全システムの技術的な基盤となっており、この進化は国際的な規制にも反映されています。欧州連合は 2016 年に 125 cc 以上の二輪車への ABS の搭載を義務付け、2018 年にはインドが続きました。シンガポールはこの取り組みをさらに一歩進め、世界で初めて 125 cc 未満のバイクを含むすべての新車の二輪車への ABS の搭載を義務付けました。この動きは、ライダーの保護に対する世界的な関心の高まりを浮き彫りにするとともに、他国へのベンチマークとなるものです。ボッシュは、今後も二輪車向け安全技術の開発をリードし、ネットワーク機能を統合した高度な二輪車向けソリューションを提供することで、すべてのセグメントにおいて安全性とライディングエクスペリエンスを向上します。

未来への走行 : EICMA 2025 で展示されるボッシュの革新技术

ボッシュは EICMA 2025 において、ホール 18、ブース E66 で最新の革新技术を展示しています。2027 年 2 月以降すべてのバッテリーにデジタルパスポートを義務付ける新しい EU 規制に備え、ボッシュは堅牢なソリューションの提供により、二輪車メーカーを最前線でサポートします。**デジタル バッテリー パスポート**は EU 規制を満たすように設計されており、バッテリーの静的および動的データによってライフサイクル全体にわたってバッテリーの状態の透明性を

確保します。ポッシュは、二輪車メーカーがこれらの文書化に関する新しい要件を満たし、重要なバッテリーデータを安全に管理できる包括的なデジタルサービスも提供します。このソリューションにより、複数ソースからのデータがシームレスに統合され、二輪車メーカー、修理工場、販売店、ライダーは簡単かつ便利にバッテリーデータを利用できるようになります。コンプライアンス対応のための業務効率化やバッテリー管理の強化にもつながります。

ポッシュは、デジタル バッテリー パスポートを補完するために、二輪車メーカーが継続的にバッテリーの状態を監視、予測、改善できるように設計されたサービスである**バッテリー・イン・ザ・クラウド**も導入しました。これは、高度なデータ分析と AI ベースのモデルを使用して、クラウド内に実際のバッテリーの状態を正確に再現したデジタルバッテリーツインを作成する革新的なシステムです。これにより、ストレス要因や異常を早期に検出して故障の頻度を大幅に削減し、バッテリー寿命を延ばすことが可能です。バッテリー・イン・ザ・クラウドは、二輪車メーカーやオーナーにとって重要な情報となるバッテリーの性能と信頼性に関する正確な分析結果や予測結果を提供します。さらに、システムによって生成される使用証明書は、改ざん不可能でバッテリーの状態を確認できるため、車両を再販する際の残存価値の見積もりに重要なサポートを提供します。

ネットワーク化されたライディングエクスペリエンスのさらなる向上を図るために、拡張を続けるコネクティビティクラスターのシリーズに、最新製品の**コネクティビティクラスター4.2 インチ ラウンド**が登場します。多くの場合は別途ホルダーが必要となるナビゲーション用の 2 台目のディスプレイを求めるニーズに応える革新的なクラスターで、ネットワーク機能がシームレスに統合されます。スマートフォンをこのコネクティビティクラスターに接続するだけで、ライダーはナビゲーション、音楽、電話などの必要な機能を利用できるようになります。同時に、警告メッセージや走行速度といった重要なライディング情報も、常時クラスターディスプレイに表示されます。

ポッシュの高度なドライブシステムで二輪モビリティを強化

電動モビリティへのシフトが進む中、ポッシュはさまざまな二輪車セグメントに合わせた幅広いソリューションを開発しています。**ビークル コントロール ユニット**と**統合型電動ドライブ**は、6kW の e モビリティを実現するために設計されています。インドや東南アジアといった市場で特に人気の高い小型電動二輪車向けには、追加のインハブ ドライブ システムと対応するコントロールユニットを提供しています。新しい**3kW ドライブ コントロール ユニット**は、二輪車メーカーによる小型車セグメントの電動化の導入をサポートする製品で、インバータ、エンジン制御、車両制御の機能が、単一のコンパクトなコンポーネントに統合されたユニットです。インハブモーターと組み合わせることで、よりスムーズな加速や速度を維持するためのクルーズコントロールなどの快適機能を実現します。また、電動トラクションコントロールは、モーターのトルクを

管理して加速時に後輪が滑るのを防ぎ、ライディングの安全性を高めます。ワン スロットル ライドは、ライダーがスロットルを離す際に回生ブレーキを有効にすることでパワートレインの効率を高め、充電走行距離を最大 8% 延伸します。2kW ドライブ コントロール ユニットの、過酷な条件に耐えられるように設計され、高い振動耐性と IP67 保護等級のロバスト性に優れており、天候、地形を問わず、信頼性の高い性能を発揮します。

報道用画像およびインフォチャートは、ボッシュ・メディア・サービス

www.bosch-press.com でご覧いただけます。

お問い合わせ先：

Anna Schmatz,

電話: +49 711 811-12715

E-mail: anna.schmatz@de.bosch.com

Gabriele Aimone Cat,

電話: + 39 02 3696-2613

E-mail: gabriele.aimonecat@it.bosch.com

モビリティは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2024 年の売上高は 558 億ユーロで、グループ総売上高の約 62% を占めています。モビリティの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティ事業セクターは、安全でサステナブルかつ魅力的なモビリティをめざし、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、電動化、ソフトウェアとサービス、半導体とセンサー、車両コンピューター、先進運転支援システム、ビークルダイナミクスコントロールシステム、リペアショップコンセプト、オートモーティブアフターマーケットやフリート向けのテクノロジーおよびサービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置 ESC（エレクトロニック スタビリティ コントロール）、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2024 年の従業員数は約 41 万 8,000 人（2024 年 12 月 31 日現在）、売上高は 903 億ユーロ（約 14.8 兆円*）を計上しています。ボッシュは事業を通じて、自動化、電動化、デジタルイゼーション、ネットワーク化、持続可能性の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することをめざしています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化と AI に関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 490 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 136 の拠点で約 8 万 7,000 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ（1861～1942 年）がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うこ

とができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 94%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・ボッシュ GmbH および創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

*2024 年の為替平均レート、1 ユーロ = 163.8354 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

[@BoschJapan](#) ボッシュ・ジャパン 公式 X (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)

<https://www.linkedin.com/company/bosch-japan/> ボッシュ・ジャパン 公式 LinkedIn (日本語)